

## 第2回 京大本番レベル模試（地理） 採点基準

### 共通採点基準

〔記述・論述問題共通〕

- 誤字や脱字、「てにをは」の誤り、主語述語関係などの日本語の乱れは1か所につき、**1点減点**
  - \*同一の小問内で、同じ誤りを繰り返している場合は、個々ではなく、まとめて減点を行う
- 指定行数・字数を超えて記述した解答は、**1点減点**
  - \*最後のマスに文字と句点を両方記入したものも含む
- 国名を一意性のない略称で記述した解答は、**1点減点**
  - \*同一の小問内で、複数の略称を用いた場合も、まとめて一度のみ減点を行う
  - \*重複のない政体抜きで国名や「中国」「韓国」「イギリス」などの通称は、減点しない
  - \*「米国」「英国」「ソ連」「UAE」「露国」「独国」「仏国」「豪州」などは、一意性があるため、減点しない
  - \*「アメリカ」は地域・大陸名と重複、「コンゴ」「ドミニカ」は国名が重複するため、減点する
    - \*ただし、「アメリカ」は、国名として記述されていることが明確に読み取れる場合に限り、減点しない
  - \*「日」「中」「韓」「米」「露」「英」「独」「仏」「豪」などは、一意性がないため、減点する
    - \*ただし、「日中関係」「日米間」などの熟語的使用は、一意性があるため、減点しない
  - \*上記にかかわらず、問題用紙に記載されている表記については、減点しない

\*以上の減点は、他の加点・減点・得点の上限の適用などを全て施した最終的な得点に対して行う

\*各小問の得点が0点になった場合、それ以上の減点を行わない

## 採点基準の見方

---

〔加点項目（算用数字：1, 2, 3…）について〕

- 「X, という内容 (a 点)」の項目は、解答全体がどのような文章構成であるかに関わらず、解答に要素 X が含まれているかどうかを判断し、含まれていれば加点する

〔採点基準の見方：注記（アスタリスク：\*）について〕

- 注記は主に青字で示した解答以外で解答として認められる地理的類義語や国語的類義表現を示している
- 各注記「\*」は、他の「\*」を除く直上の記述に係っている
- 2つの加点項目が列挙される場合において、「\*1」は1つ目（1行目）の加点内容に対する注記、「\*2」は2つ目（2行目）の加点内容に対する注記、「\*12」は両方に共通する注記であることを示している。同様に、加点項目が3つ以上列挙される場合は、「\*1」は1つ目、「\*3」は3つ目、「\*23」は2つ目と3つ目に共通する項目、などを示している。

〔論理関係・問題条件による減点項目（ローマ数字 I, II, III…）について〕

- 「X1 が X2 の Y である、という関係でなければ、a 点減点」の項目は、要素 X1 と要素 X2 の両方で加点されている解答だけを判断の対象とする。つまり、要素 X1 または 要素 X2 が欠けている場合は、項目 Y についての減点は行わない（X1 や X2 が欠けていることによって失点しているため、さらに減点する必要はない）

## I (20点)

### 採点基準

---

(1) 6点

(1) ① 1点

\* 「灰」「火山噴出物」は不可

(1) ② 3点

1. アイスランドで火山災害が発生する理由

(アイスランドでは) 火山活動が活発である, という内容 (1点)

\* 「(活) 火山が多い」「火山噴火が起こりやすい」でも可

2. 火山活動が活発である理由

(アイスランドは) プレートの広がる境界に位置する, という内容 (2点)

\* 「プレートの広がる境界」は「(大西洋中央) 海嶺上」でも可

\* 「海嶺」は「海底山脈」でも許容

I. 1が(アイスランドで火山災害が発生する)理由である, という関係でなければ, 1点減点

II. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(1) ③ 2点

1. 範囲AからBに火山灰が移動した理由

(火山灰が, 上空を吹く) 偏西風の影響を受けた, という内容 (2点)

\* 「偏西風によって流された」などの表現でも可

I. 1が(範囲AからBに火山灰が移動した)理由である, という関係でなければ, 2点減点

(2) 2点

\* 「防災マップ」「被害予測図」「被害想定図」「アボイドマップ」「リスクマップ」でも可

(3) 8点

(3) ① 4点

1. Cの海岸線のでき方

Cは(氷食による)U字谷が沈水して形成された, という内容 (2点)

\* 「U字谷」は「氷食谷」でも可

\* 「沈水して」は「海水が浸入して」「海面下に沈んで」などの表現でも可 (以下の加点要素でも同様)

2. Eの海岸線のでき方

Eは山地が沈水して形成された, という内容 (2点)

\* 「山地」は「V字谷」「尾根と谷」「丘陵」でも可

(3) ② 4点

1. Cの後背地で都市が発達しにくい理由

Cの背後には(急な)崖が迫る, という内容(2点)

\* 「背後」は「後背」「後背地」「後ろ」などの表現でも可(以下の加点要素でも同様)

\* 「崖が迫る」は「崖が分布する」「崖となっている」でも可

\* 「崖」は「斜面」でも許容

2. Dの後背地が都市として発達しやすい理由

Dの背後には平地が広がる, という内容(2点)

\* 「平地」は「平野」「低地」「平坦な土地」でも可

I. 1が(Cの後背地で都市が発達しにくい)理由である, という関係でなければ, 2点減点

II. 2が(Dの後背地が都市として発達しやすい)理由である, という関係でなければ, 2点減点

(4) 4点

(4) ① 1点

(4) ② 3点

1. Cの海岸線に面する国で水力発電が多く利用される理由 i

(Cの海岸線に面する国は)多雨である, という内容(1点)

\* 「降水量が多い」「雪が多い」でも可

2. Cの海岸線に面する国で水力発電が多く利用される理由 ii

(Cの海岸線に面する国では)ダムの落差が激しい, という内容(2点)

\* 「ダムの大きな落差を利用できる」でも可

\* 「落差」は「高低差」でも可

3. 多雨となる理由

(Cの海岸線に面する国では)偏西風が山脈にぶつかる, という内容(2点)

\* 「偏西風の風上である」「山脈が偏西風を遮る」でも可

4. ダムの落差が激しい理由

(Cの海岸線に面する国では)山地が分布する, という内容(1点)

\* 「山地」は「山脈」「急峻な山」「フィヨルド」「U字谷」でも可

I. 1~4の加点の合計が4点以上の場合, 3点とする

II. 1が(Cの海岸線に面する国で水力発電が多く利用される)理由である, という関係でなければ, 1点減点

III. 2が(Cの海岸線に面する国で水力発電が多く利用される)理由である, という関係でなければ, 1点減点

IV. 3が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

V. 4が2の理由である, という関係でなければ, 1点減点

## Ⅱ (20点)

### 採点基準

---

(1) 2点

(1) ① 1点

(1) ② 1点

(2) 7点

(2) ① 各1点 計2点

(2) ② 1点

\* 「OPEC」「アラブ石油輸出国機構」は不可

(2) ③ 4点

1. 日本の原油輸入の OPEC 依存の解消策 i (自主開発)

原油の自主開発を進める, という内容 (2点)

\* 「自主開発」は「新規開発」「開発投資」でも可

2. 日本の原油輸入の OPEC 依存の解消策 ii (輸入先の分散)

供給源を多様化する, という内容 (2点)

\* 「供給源」は「調達先」「輸入先」でも可

\* 「多様化」は「多角化」「分散化」でも可

3. 日本の原油輸入の OPEC 依存の解消策 iii (分散の具体例)

アメリカ (合衆国) から輸入を行う, という内容 (2点)

\* 「アメリカ (合衆国)」は「ロシア」「カナダ」「北アメリカ」「非中東」でも可

\* 「シェールオイルの輸入を行う」「オイルサンドの輸入を行う」でも可

I. 1~3の加点の合計が5点以上の場合, 4点とする

(3) 6点

1. C国の国際空港の旅客数が人口を大きく上回る理由 i (C国の位置)  
(C国は) ヨーロッパとアジア (・オセアニア) の中間に位置する, という内容 (2点)
    - \* 「ヨーロッパ」は「欧州」でも可
    - \* 「アジア」は「東アジア」「東南アジア」「南アジア」「アジア太平洋」でも可
  2. C国の国際空港の旅客数が人口を大きく上回る理由 ii (空港の機能)  
(C国の国際空港は) ハブ空港である, という内容 (2点)
    - \* 「拠点空港である」は不可
  3. ハブ空港の説明  
(ハブ空港は) 多くの乗り継ぎ客が利用する, という内容 (2点)
    - \* 「乗り継ぎ利用が多い」「乗り継ぎ拠点である」「国際線の中継地である」でも可
    - \* 「観光客の利用が多い」「(南アジアからの) 移民の利用が多い」は不可
- I. 1が(C国の国際空港の旅客数が人口を大きく上回る)理由である, という関係でなければ, 2点減点
  - II. 2が(C国の国際空港の旅客数が人口を大きく上回る)理由である, という関係でなければ, 2点減点

(4) 5点

(4) ① 2点

- \* 「センターピボット方式」でも可

(4) ② 3点

1. D国の小麦輸入量が急増した背景  
(小麦の) 生産量を減少させた, という内容 (1点)
    - \* 「生産量」は「生産」「農業生産」「穀物生産」でも可
    - \* 「を減少させた」は「が減少した」「が抑えられた」「を抑制した」「を調整した」などの表現でも可
  2. 小麦の生産量を減少させた理由  
地下水の枯渇を懸念した, という内容 (2点)
    - \* 「(小麦の生産が) 大量の水を必要とした」「地下水を保全する観点があった」でも可
      - \* 「必要とした」は「消費した」「使用した」などの表現でも可
    - \* 「地下水」は「水資源」でも許容
    - \* 「を懸念した」は「の恐れがあった」「が問題になった」などの表現でも可
- I. 1が(D国の小麦輸入量が急増した)理由である, という関係でなければ, 1点減点
  - II. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

### Ⅲ (20点)

#### 採点基準

---

(1) 4点

1. 五大湖沿岸地域で1980年以前に発達した工業の内容  
(五大湖沿岸では) 鉄鋼業が発達した, という内容 (1点)
    - \* 「鉄鋼業」は「製鉄業」「重(化学)工業」「自動車工業」でも可
    - \* 「機械工業」は不可
  2. 五大湖沿岸地域で鉄鋼業が発達した背景 i (資源)  
周辺に炭田と鉄鉱山があった, という内容 (2点)
    - \* 「周辺で石炭や鉄鉱石が産出された」でも可
    - \* 「炭田」「鉄鉱山」のいずれかがないものは, 1点とする。
    - \* 「炭田」は「アパラチア炭田」「内陸炭田」など具体例を挙げて可
    - \* 「鉄鉱山」は「メサビ鉄山」など具体例を挙げて可
  3. 五大湖沿岸地域で鉄鋼業が発達した背景 ii (交通)  
(五大湖の) 水運が利用できた, という内容 (1点)
    - \* 「運河で結ばれていた」「船舶による輸送が可能であった」でも可
- I. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点
  - II. 3が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(2) 1点

- \* 「ハイテク産業」「IT産業」「ICT産業」「情報通信産業」「バイオ産業」「製薬」「金融・保険業」でも可
- \* 「サービス産業」「第3次産業」は不可

(3) 5点

(3) ① 1点

- \* 「刷新政策」でも可

(3) ② 4点

1. マレーシアの工業化を進展させた施策の内容 i (国内向け)

ルックイースト政策を掲げた, という内容 (2点)

\* 「東アジアをモデルにした」でも許容

\* 「東アジア」は「日本」「韓国」でも可

\* 「モデルにした」は「手本にした」「参考にした」などの表現でも可

2. マレーシアの工業化を進展させた施策の内容 ii (国外向け)

輸出加工区を設置し, 外資を導入した, という内容 (4点)

\* 「輸出加工区」は「EPZ」でも可

\* 「税制優遇措置をとった」でも可

\* 「税制」は「(輸入) 関税の」「法人税の」でも可

\* 「導入」は「誘致」でも可

\* 「輸出加工区の設置」「外資を誘致」のいずれかがないものは, 2点とする

I. 1~2の加点の合計が5点以上の場合, 4点とする

(4) 5点

(4) ① 各1点 計2点

(4) ② 3点

1. アルミニウム工業の立地条件 i (安価な電力供給)

安価な電力が確保できる, という内容 (2点)

\* 「電力」は「電気」でも可 (以下の加点要素でも同様)

2. アルミニウム工業の立地条件 ii (大量の電力供給)

大量な電力が確保できる, という内容 (1点)

\* 「水力発電を利用できる」でも可

(5) 5点

(5) ① 1点

\* 「伝統産業」「伝統工業」でも可

(5) ② 4点

1. 第3のイタリアにおける工業の特徴 i (製品)

高級日用品を製造している, という内容 (2点)

\* 「高級日用品」は「皮革製品」「繊維製品」「高級家具」「デザイン性の高い日用品」「高級服飾品」でも可

2. 第3のイタリアにおける工業の特徴 ii (組織)

中小企業が(密接に)連携している, という内容 (2点)

\* 「中小企業」は「ファミリー企業」「家族経営の会社」でも可

\* 「連携している」は「集積している」「集中している」「ネットワークを有する」でも可



## IV (20点)

### 採点基準

(1) 8点

(1) ① 6点

1. アメリカ合衆国で若年層の割合が高くなる理由 i (移民の出生率)  
(アメリカ合衆国では) 移民の出生率が高い, という内容 (2点)
    - \* 「移民は子どもを多く産む」「移民は多産である」でも可
    - \* 「移民」は「ヒスパニック」でも可 (以下の加点要素でも同様)
      - \* 「アジア系」は不可
  2. アメリカ合衆国で若年層の割合が高くなる理由 ii (移民の流入)  
(アメリカ合衆国では) 移民の流入が多い, という内容 (1点)
  3. デンマークで若年層の割合が高くなる理由 i (出生率)  
(デンマークでは) 高い出生率が維持されている, という内容 (1点)
    - \* 「出生率が高い」「多産である」でも可
  4. デンマークで若年層の割合が高くなる理由 ii (育児支援策)  
(デンマークには) (手厚い) 育児支援策がある, という内容 (2点)
    - \* 「育児支援策」は「充実した保育サービス」「男性の育児参加」「育児休業制度」「子ども手当」でも可
      - \* 「保育サービス」は「保育所」「家庭保育」でも可
      - \* 「育児」は「子育て」でも可
- I. 1が(アメリカ合衆国で若年層の割合が高くなる)理由である, という関係でなければ, 2点減点
- II. 2が(アメリカ合衆国で若年層の割合が高くなる)理由である, という関係でなければ, 1点減点
- III. 3が(デンマークで若年層の割合が高くなる)理由である, という関係でなければ, 1点減点
- IV. 4が(デンマークで若年層の割合が高くなる)理由である, または  
4が3の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(1) ② 2点

1. 発展途上国で合計特殊出生率が高くなる理由  
子どもが労働力となる, または  
子どもに老後の扶養を期待する, または  
乳児死亡率が高い, または  
避妊の知識が普及していない, または  
女性の地位が低い, という内容 (各1点, 最大2点)
  - \* 1「児童労働が多い」でも可
  - \* 2「扶養を期待する」は「面倒を見てもらう」でも可
  - \* 3「乳児死亡率」は「新生児死亡率」「幼児死亡率」でも可
  - \* 4「避妊手段を利用しない」「避妊実行率が低い」でも可
  - \* 5「地位が低い」は「社会進出が進まない」「就業機会がない」「教育水準が低い」「初婚年齢が低い」でも可
    - \* 「就業」は「就学」でも可

(2) 4点

1. ブラジルのたどった都市化の過程 i (農村の変化)

農村で(大量の)余剰労働力が発生した, という内容 (2点)

\* 「余剰労働力が発生した」は「人口爆発が起きた」「人口が増加した」でも可

2. ブラジルのたどった都市化の過程 ii (都市の変化)

産業が未発達な都市への人口移動が起きた, という内容 (2点)

\* 「産業」は「工業」でも可

\* 「産業が未発達」は「雇用(機会)が不十分」「労働需要が少ない」「インフラが未整備」でも可

\* 「インフラ」は「ライフライン」でも可

\* この小要素〔都市の未成熟〕がないものは, 1点とする

\* 「人口移動」は「人口流入」でも可

(3) 3点

(3) ① 2点

1. 日本における典型的な人口移動の内容

地方の若者が都市部に移住する, という内容 (1点)

\* 「地方」は「農村部」「山間部」「離島」でも可 (以下の加点要素でも同様)

\* 「若者」は「若年層」でも可 (以下の加点要素でも同様)

\* 「都市部」は「大都市」でも可 (以下の加点要素でも同様)

\* 「移住」は「転出」「流出」などの表現でも可

2. 人口移動の背景

都市部には就業機会が多い, という内容 (1点)

\* 「地方の若者が都市部で就業する」でも可

\* 「就業する」は「就業機会を求める」「就学する」「就学機会を求める」でも可

\* 「就業機会」は「雇用」でも可

I. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(3) ② 1点

\* 「Iターン現象」でも可

(4) 5点

(4) ① 1点

(4) ② 2点

1. 限界集落の問題点

(地域の) 共同生活の維持が困難となる, または  
行政サービスが運営できなくなる, または  
耕作放棄地が増加する, という内容 (2点)

\*1 「地域社会が崩壊する」でも可

\*1 「共同生活」は「冠婚葬祭」「祭事」「伝統行事」「文化」でも可

\*2 「公共交通が廃止される」でも可

\*3 「農地の管理が困難になる」「農業が維持できなくなる」「山林が荒廃する」「空き家が増加する」でも可

(4) ③ 2点

1. 生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の解消手段

女性の社会進出を進める, または  
高齢者の働き手を増やす, または  
外国人労働者の受け入れを増やす, または  
仕事における省力化を進める, という内容 (各1点, 最大2点)

\*1 「女性の育児による離職を防ぐ」「女性の労働力率を高める」「働く女性を増やす」でも可

\* 「育児」は「出産」「子育て」でも可

\*2 「定年を延長する」「高齢者を再雇用する」でも可

\*2 「高齢者」は「シニア」「老年人口」でも可

\*3 「外国人労働者」は「技能実習生」でも可

\*4 「省力化」は「効率化」「自動化」でも可

\* 「AIの活用」「ロボットの導入」「IoTの導入」「IT化」でも可

\*4 「省力化を進める」は「生産性を高める」でも可

## V (20点)

### 採点基準

---

#### (1) 5点

##### 1. 公共施設が密集することの問題点

(災害時に) (一挙に) 機能が停止する, という内容 (2点)

\* 「機能が停止する」は「サービスが停止する」「壊滅的な被害を受ける」「機能不全となる」でも可

##### 2. この地域で起こりうる災害の内容

津波が起こりうる, という内容 (2点)

\* 「津波」は「洪水」「河川の氾濫」でも可

##### 3. この地域の地形的特徴

低地である, という内容 (1点)

\* 「沖積平野である」「河岸である」「河川沿いである」「海岸沿いである」でも可

#### (2) 4点

##### (2) ① 2点

##### (2) ② 2点

##### 1. 電波塔が標高の高い地点に立地している理由

電波の遮断を防ぐ, という内容 (2点)

\* 「電波を遠くまで飛ばす」「電波が遮られないようにする」でも可

##### I. 1が(電波塔が標高の高い地点に立地している)理由である, という関係でなければ, 3点減点

#### (3) 3点

##### 1. Xの道路の形態の特徴

(Xの道路は) 蛇行している, という内容 (1点)

\* 「等高線に沿っている」「等高線と並行に走っている」でも可

\* 「曲がりくねっている」「つづら折りである」でも可

##### 2. Xの道路が蛇行している理由

勾配が急である, という内容 (2点)

\* 「勾配」は「斜面」「斜度」「標高差」でも可

\* 「急勾配を避ける」でも可

##### I. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(4) 4点

1. 崎山の農業的土地利用

(崎山には) 畑が分布する, という内容 (1点)

2. 崎山が畑として利用される要因

崎山は段丘面上に位置する, という内容 (1点)

\* 「段丘面上に位置する」は「高燥である」「水利が悪い」でも可

\* 「段丘面」は「台地」でも許容

3. 脇地の農業的土地利用

(脇地には) 田が分布する, という内容 (1点)

\* 「田」は「水田」でも可

4. 脇地が水田として利用される要因

脇地は後背湿地である, という内容 (1点)

\* 「後背湿地である」は「水利がよい」「低湿である」でも可

\* 「後背湿地」は「沖積平野」「低地」「低平」「崖下」「河川沿い」でも可

I. 2が1の理由である, という関係でなければ, 1点減点

II. 4が3の理由である, という関係でなければ, 1点減点

(5) 4点

1. Yの集落が先に成立した理由

海沿いの地域から開発が進んだ, という内容 (2点)

\* 「海沿いの」は「海に近い」「海辺の」でも可

\* 「沿岸の」など, 海に近いことが読み取れないものは不可

\* 「開発が進んだ」は「発達した」「集落が形成された」でも可

2. この地域の主要な産業

(主要な産業は) 漁業である, という内容 (2点)

\* 「港町として発展した」でも可

\* 「港町」は「漁港」「港湾都市」でも可

I. 1が(Yの集落が先に成立した)理由である, という関係でなければ, 2点減点

II. 2が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点